

まち協あさひ

創刊号

平成 30 年 12 月 1 日



「まち協あさひ」の創刊にあたって 朝日地区まちづくり協議会連絡会議 議長 忠 隆司
 朝日地区まちづくり協議会連絡会議では、5つのまち協が研修会や「あさひまつり」への参画、あさひフォトコンテストなどを実施しています。このたび、この活動を少しでも知ってもらうため、「まち協あさひ」を発行することとしました。
 今後とも、まちづくりに対して、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

10/21(日)あさひまつりで郷土料理を販売しました!

売り切れ御免! たかねのやまもち
 今回もまち協の郷土料理ブースのスタッフとしてお手伝いさせて頂いていただきました。天候にも恵まれ、大勢の人にご来場いただきました。今回はまち協ブースが多目的ドーム入り口前と絶好のポジション。用意した「やまもち(醤油仕立て、味噌仕立ての2種類)」120食は午前中のうちに完売となってしまいました。
 「やまもち懐かしいね」と言いながら食べていたおばあちゃんが印象的でした。
 (たかねまちづくり協議会 飯沼 聡)



あさひまつりに参加して
 私は三面地域まちづくり協議会のメンバーとして、あさひまつりに参加するのは3回目となりました。昨年までは客寄せに苦労しました。今年は天候もよく、出店場所もドーム入口付近ということもあり、人の賑やかさを感じながら鮎の串焼きを販売しました。
 今までで一番好調な売れ行きで、120串を午前中で完売することが出来ました。他の店も活気を感しました。
 (三面地域まちづくり協議会 板垣 安次郎)



さるさわの家庭の味「大海」
 大海は集落や家庭により具材が異なる煮物なので、役員11名で話し合いを重ね、皆さんに満足してもらえらるものを目指しました。
 当日の朝、まち協の販売ブースがズラリと並び、ドームの周りにはすでに多くの来場者。さあやるぞ!と気持ちが高まります。鶏肉、椎茸、タケノコ、しめ豆腐、豆もやしなど具だくさんのうんめえり大海は135杯で完売に。まつりは来場者数が8000人とのことで大盛況。各まち協の連帯感も高まるこの活動は、大変有意義だと感じています。
 (猿沢地域まちづくり協議会 志田 一也)



半殺し焼き大盛況
 館腰まち協は、今年も郷土料理として「半殺し焼き」を出品しました。「半殺し」という響きから興味を引いたり、また朝ドラの影響で人気の五平餅に似ていることもあってか、当日は行列が絶えないほどの大盛況でした。正午過ぎには、用意していた約250食分が完売。結局自分の口には入りませんでした。が、大勢の方に喜んで食べて頂き何よりでした。
 (館腰地域まちづくり協議会 中山 靖夫)



塩野町小学校の味、まちづくりコロッケ
 塩野町まち協では、塩小の子供たちが学校で育てたじゃがいもを使った「まちづくりコロッケ」を販売しました。地域食材をほぼ100%使ったこのコロッケは、味の良さと揚げたての美味しさで、何個も買ってくれる人もおり、早々に168個が完売。賑わいの中、知り合いや懐かしい顔にも会えて、多くの人に小学校やまち協の活動を伝えることが出来ました。
 塩野町小学校は、来年閉校しますが、少しでもPRできてよかったし、とても楽しい一日でした。
 (塩野町地域まちづくり協議会 大滝 正人)



猿沢地域カーリンコン大会



カーリンコンって何?

氷上のカーリングの室内版と思ってください。チーム対抗で、6枚のディスクを的に近づけることができるかを競います。
 まち協では、今年9月に大会を開催。初心者、経験者、小学生から高齢の方まで、年齢性別問わずに楽しむことができました。最後の一投が逆転劇に!と思わぬ展開も。まち協では、道具の貸出を行っています。出張講習も検討中。公民館の畳の上でもOK。まずは楽しさを体験してみてください!
 猿沢地域まちづくり協議会 会長 佐藤 倉一



秋の大収穫祭

塩野町まち協のイチオン事業は、「秋の大収穫祭」です。発足当時から開催で、8集落の大海の味比べから始まりました。
 お盆に小さなお椀を8つ並べ、そこに各集落の大海を入れて味比べをするというものでした。300人規模で塩野町地区限定で始めましたが、今では400人規模となり、地区外からのお客様も増え、メニューも村上牛、もち、おにぎり、各集落の一品料理、大海となっています。今ではリピーターも増え、一大事業となっています。
 塩野町地域まちづくり協議会 会長 中山 好栄



秋の大収穫祭



朝日地区で活動する地域おこし協力隊を紹介します!

「地域おこし協力隊」は、都市部からの移住者が、ヨソモノならではの目線で地域の埋もれた魅力を掘り起こしたり、地域の住民と力を合わせ地域おこしに取り組みます。協力隊としての任期は3年までとなっており、現在、朝日地区には、5名の協力隊が着任しています。



<p>たかはし なおと 高橋 直人 【塩野町地域】 着任：H28年度～ 出身：新発田市 農家民宿「ひどこ」を拠点とした地域活性化などに取り組む。</p>	<p>ほそい もとこ 細井 幹子 【松原集落】 着任：H29年度～ 出身：東京都 シルクフラワー技術の継承などに取り組む。</p>	<p>さとう ゆたか 佐藤 豊 【長津地区】 着任：H30年度～ 出身：新発田市 竹山整備事業の推進(かぐや姫プロジェクト)などに取り組む。</p>	<p>たかはし ひろし 高橋 洋 【高根集落】 着任：H30年度～ 出身：山梨県 ワサビ栽培、加工の協力と販売先の確保協力などに取り組む。</p>	<p>くりばら なるみ 栗原 成美 【高根集落】 着任：H30年度～ 出身：群馬県 地域資源の発掘および情報発信によるPR活動などに取り組む。</p>
--	---	--	---	---

編集後記

朝日地区まちづくり協議会も6年目を迎え、各協議会の取り組み等をお知らせするにあたり「まち協あさひ」を創刊することになりました。この広報紙は、まちづくり協議会が合同で実施している事業等のお知らせとして、年1回の発行となります。なにぶん読みにくい等、至らないところがあると思いますが、来年度の広報紙も頑張りますので楽しみにしてください。
 館腰地域まちづくり協議会 事務局長 佐藤 良夫

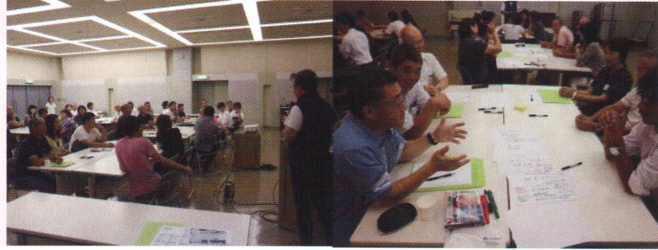
まち協あさひ 創刊号

発行日：平成30年12月1日
 発行：朝日地区まちづくり協議会連絡会議
 【事務局】〒958-0292新潟県村上市岩沢5611
 村上市朝日支所地域振興課自治振興室
 TEL：0254-72-6881
 ◆HPでも活動の様子を公開しております
<http://www.city.murakami.lg.jp/site/asahi-renrakukaigi/>

朝日地区まちづくり研修会



「現在、地域で抱えている困りごと・課題は、助け合いやちよつとした一手間・工夫で解決の糸口を見つかることができる」ということについて、例を交えて講演いただき、その後、実際に集落の人の「つぶやき」を集めて解決策を考え、「どうなったらいいか」「これならできそうだな」という意見を出し合うワークショップが行われました。高齢になり畑の管理が難しい、冬場の除雪・ゴミ出しが困難...といったつぶやきに参加者は思い思いの意見を出して見ます。



「一見、「妄想」に思えるような意見でも、実は実現可能な「発想」に十分なりうることに、とにかく想像してみること、確認できた研修でした。」

まちづくりに関する様々なノウハウを広く学び、今後の各地域のまちづくりを担う人材を育成することを目的に、今年も、朝日地区の5つのまちづくり協議会の役員を対象に、都岐沙羅パートナーズセンターの齋藤主税事務局長を講師に迎え、8月25日(土)に研修会を行いました。

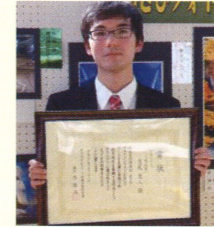
あさひフォトコンテスト

朝日地区の5つのまちづくり協議会が連携して実施した「あさひフォトコンテスト」は、今年で2回目となりました。被写体テーマを「朝日地区の自然、風景、暮らし、人、歴史、行事、伝統文化」とし地域の魅力を表現した写真を募集し、公表・表彰することにより、地域への誇りや一体感を醸成するとともに、内外に地域の魅力を発信することを目的に開催しました。

あさひまつりでの表彰式及び展示の様子



今回受賞した写真は、朝日の誰も見たことのない美しい景色を応募しようと思いつきました。これからは朝日の素晴らしい写真を撮影していきたい、たくさんの人に朝日を広められればと思っています。



素晴らしい朝日
鷲尾 憲人

「あさひフォトコンテストのグランプリに入賞しました」という電話をいただいた時は飛び上がるほど嬉しかったです。



グランプリ「三面の秘境」
鷲尾 憲人(岩崩)
撮影地：奥三面

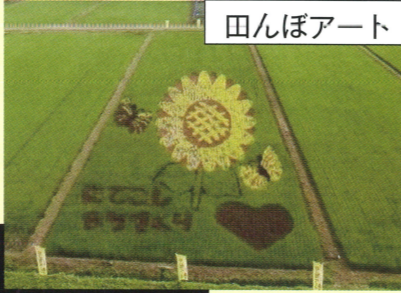
各まちづくり協議会「うちのイチオシ事業」

I love たてこし・魅力ある館腰!

今年度から取り組んだ熊登集落での「田んぼアート」にたくさんの皆さんにお越しいただきありがとうございました。市報の表紙を飾り、また地方紙に取り上げてもらうなど、お陰様で、地域の観光拠点づくりと地域内外との交流を広げることができました。

また、小川小学校で行った「竹あかり たてこしの夕べ」でも田んぼアートでデザインした「ひまわり」の竹灯籠が咲き、一夜限りの幻想的な情景を楽しみました。

館腰地域まちづくり協議会 会長 忠 隆司



田んぼアート



竹あかり たてこしの夕べ

三面大運動会

今年度末に、三面小学校が閉校することにより、地域と小学校が合同で行う最後の運動会となりました。多くの地域の皆さんに参加していただき、盛り上がりました。各競技では、家族や各軍からの声援も加わり熱戦が繰り広げられました。気持ちをひとつにした三面太鼓。全員で最高の走りを見せた全校リレー、感動でした。まさに今年のスローガンにある、三面が最強で最高となり、地域の伝統が受け継がれた素晴らしい運動会でした。

三面地域まちづくり協議会 会長 田村 新作



三面大運動会



天蓋高原まちあるき



天蓋高原まちあるきで地域の宝を再発見!

9月8日(土)は、雨天のコースで実施した。高根区民会館で日程説明等を行い、車で移動し天蓋高原近くの棚田に行き、その後、スイレン池と山ブドウ園を回った。

特に、河内二柱神社やどぶろく製造所では担当者の説明を聞き、参加者も印象深く見学できた。地元の人たちと役員が高根産のコシヒカリで作ったおにぎりと大海等で昼食交流会も行った。感想や質問等が多く出て、地域のお宝再発見で大いに盛り上がった。

たかねまちづくり協議会 会長 和田 壽久



準グランプリ「新緑の三面川」
小池 一栄(笹平)
撮影地：奥三面



いいね!賞「棚田に降る星々」
遠山 真治(高根)
撮影地：高根



準グランプリ「朝中体育祭フィナーレ」
中林 麻由佳(小川)
撮影地：岩沢



いいね!大賞「境界線」
細井 幹子(桧原)
撮影地：高根



今年で2回目となる「あさひフォトコンテスト」。昨年を上回る43名の応募がありました。13名の審査員により、13の賞が決定し、10月21日の「あさひまつり」にて表彰式が行われました。どの作品も季節の中の一瞬の美しさや、そこで生きる人々の魅力をとらえている素晴らしい作品であり、ふるさと・朝日の風景を愛おしいと思う撮影者のまなざしも感じ取ることのできる写真ばかりです。ここに上位5作品を紹介します。

◆フォトコンテスト全応募作品をホームページで公開中です。 [朝日地区まちづくり協議会連絡会議](#) [検索](#)

応援しています、子どもたちによる森づくり。 ～森林環境教育事業について～

朝日中学校では、私達の生活に関わりの深い森林に関する理解を深めるため、森林環境教育事業として、学校林の整備を行い、村上市及び新潟県の木・花の植樹等を行っています。事業は3年計画で進められており、今年が2年目に当たります。朝日地区まちづくり協議会連絡会議も、この事業に負担金を拠出し、子どもたちの教育活動に協力しています。



生徒のイラストを使用した看板